

1 主題名 自然愛護

2 ねらい

塚本こなみさんの植物に対する考え方や姿勢を通して、自然へ対する畏敬の念に気付き、身近な自然に積極的に関わろうとする態度を育てる。

教材名 「木の声聞く」（出典：「あすを生きる1」 日本文教出版）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

人は昔から自然の豊かさや儚さに感動したり、共感したりすることにより、内面を豊かにしてきた。同時に、近年起こる自然災害に対し恐れたり、その被害の無常さに怒りを感じたりすることもある。自然に対する畏敬の念を抱くことは、人間の力が及ばない自然とどう共存していくか考え、自然の恵みに感謝するなど、謙虚に生きることができるようになる。自然の中で生かされていることを自覚することで、生きとし生けるものに対する感謝と尊敬の心を生み出し、人間性や人生を豊かにすることができると思う。

(2) 生徒のこれまでの学習状況及び実態について

小学校段階では、自然のすばらしさや偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて学んできている。また、本校の総合的な学習の時間では「ひまわりの里づくり」として、地域の方々と協力して、ひまわりの花を町でいっぱいにする活動を行っている。土づくりから種を収穫する過程を地域の方々と共に体験し、自然を愛し守る活動を通して、人間性を豊かにする活動を30年以上続けている。

本学年の生徒は、お互いの立場を理解しようと努力し、相手の気持ちに寄り添った行動をとることができる生徒が多い。クラスの植物の世話や仕事などを、気付いて自分からやる姿も見られる。しかし、自分に自信がもてず努力することを諦めてしまったり、周囲の支えに気付かず、感謝の気持ちを持たずに自分の気持ちを押し付けたりしてしまい、トラブルに発展してしまう場面も見られる。

自然は直接私たちに何か手を差し伸べてくれているわけではない。しかし、存在してくれることが私たちの支えとなり、自分を越えた存在として感動や恐怖を感じることができる。このことが、私たちの人生の豊かさにつながり、自分は生かされている存在であると感じるとともに、周りにあるものすべてに感謝を感じられるきっかけになればと考える。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、塚本こなみさんが樹齢150年を超える大藤を移植するという過程が描

かれています。本教材では、その当時では前代未聞の大きさを誇る大藤移植を引き受けた塚本さんが、どのように数々の苦難を乗り越えたのかを考えることを通して、塚本さんの植物や自然に対する考え方や、木本来の生命力の素晴らしさを学ぶことができる。SDGsの考え方にもあるように、自然の姿を後世へどのように繋げるのかを考え、自然と共存しようとする積極的な態度を促すことができると考える。

そのために、本時の話し合いでは、以下を中心にねらいとする道徳的価値に迫る。

○塚本こなみさんの藤の木に対する考え方や行動を通して、人間の力を超えた自然の偉大さを理解し、生かされていることを自覚し、身近な自然に感謝の気持ちを持ち生きることの大切さに気付かせる。

以上のことから、本主題を設定した。

#### 4 学習指導計画

	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	<p>1 自然の偉大さについて考える。</p> <p>・「今までの経験で自然はすごいな、または怖いなと思ったことはありますか。」</p> <p>・「畏敬」という言葉について説明する</p> <p>2 樹木医と塚本こなみさんについて知る。</p>	<p>・満開の桜がとてもきれいだと思った。</p> <p>・富士山の美しさや大きさに驚いた。</p> <p>・津波の映像を見て恐怖を感じた。</p> <p>・台風などがくると川の氾濫などが怖い。</p>	<p>・自然にはその素晴らしさに感動することと、人間にはどうすることもできない力を目の当たりにし、恐怖を感じる二面性があることに気付かせる。</p> <p>・板書の仕方も工夫する。</p> <p>・子供たちから出た意見を対比させ、「畏敬」という言葉の意味を理解させる。</p> <p>・塚本こなみさんの生き方から、自然への考え方を学ぶことを理解する。</p> <p>・パワーポイントを使用し塚本さんの様子や大藤を写真で提示し、題材への興味関心を喚起する。</p> <p>・樹木医の仕事を知り、古来より日本人は自然と共に生きていることを知る。</p>
	<p>塚本こなみさんの考え方から、私たちはどのように自然とともに生きていくべきなのか考えよう。</p>		

<p>展 開</p>	<p>3 教材「木の声を聞く」を読み、話し合う。</p> <p>(1) 塚本さんはどんな思いから藤の花の移植に携わったのだろうか。</p> <p>(補助発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさんは植物や花を育てるとき、どんなことに気を付けますか。</li> <li>・「木を救う仕事ではなく、その木に宿る生命力を高めるための手伝いをしている」とこなみさんが考えたのは、どんなことに気付いたからだろうか。</li> </ul> <p>(2) 「私たちは生かしていただいている、そう思うのです。」とこなみさんが考えているのは、どんな考えからだろうか。</p> <p>4 自分を見つめる 自分が今までに「自然」について考えた経験を思い出して書いてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木がかわいそうだから。</li> <li>・木がもっと元気になるなら頑張ろうと思ったから。</li> <li>・花の気持ちを考えます。</li> <li>・花だけでなく土の状態などもよく観察します。</li> <li>・木の治癒能力を信じた。</li> <li>・木は人と同じように接すればいいのだと分かった。</li> <li>・木には人間にはどうすることもできない力が備わっていると信じているから。</li> <li>・植物が作る酸素がないと生きていけないから。</li> <li>・自然のものを使って私たちは生活しているから。</li> <li>・災害は被害をもたらすけれども、そのおかげで私たちの技術は進歩している。</li> <li>・小学校の近くにある古木について勉強したことがある。私たちが生まれる前からそこにあるので、不思議な感覚になった。毎年台風が来ると、洪水などの災害が心配になるが、木は倒れずそのままの姿を保っていてすごいと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塚本さんが木に対して人に対して思うような気持ちをもっていることに気付かせる。</li> <li>・塚本さんの考えや気持ちが、自分たちと近いものであるということに気付かせる。</li> <li>・人間の力を超えていることを謙虚に受け止めている表れであると気付かせる。</li> <li>・自然は常に身近にあり、なくてはならない存在である。昔から自然がつくり出す環境の中で人間の暮らしが進歩してきたことに気付かせる。</li> <li>☆自然の雄大さや恐れた自分の経験を通して、自然の大切さを自覚し、自然への畏敬の念について考えを深めている。 (記述)</li> <li>・小グループで発表し、意見交換を行う。</li> </ul>
----------------	---	--	--

終末	5 大藤の映像を見て、授業で学んだことを書こう。	・足利フラワーパークの大藤や塚本さん動画を見て、本時の授業で考えたことをまとめ、発表する。
----	--------------------------	---

## 5 他の教育活動との関連

総合的な学習の時間	全校で取り組む「ひまわりの里づくり」において、土づくりから種の回収までを地域の人と協力して行うことで、ひまわりや植物を育てるための知識を深めたり、自然について考えるきっかけづくりになる。
特別活動	震度6の地震を想定し、全校で避難訓練を行った。その際、東北で震災を体験した教員による講話を聴き、自然災害に対する知識を深めた。
理科	地震の起こり方や、噴火の特徴や噴出物などについて学習し、自然災害の知識を深める。
国語	「幻の魚は生きていた」において、田沢湖に生息するクニマスを元の環境に戻そうという活動を行っている地元住民の物語を通して、自然と現代化した人々の生活との調和を目指しているかを学習した。自然の恵みに感謝し、人間も自然に対して貢献する姿を通して、自然と共生することの大切さを学んだ。
家庭との連携	学級通信などで本時の授業の内容や感想などを紹介し、家庭で話題にしてもらう。

## 6 評価の視点

### 【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・塚本さんの自然に対する思いについて友達の意見を聞き、自分の考えを深めている。

### 【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・これまでの自分を振り返り、自然には感動や恐れなどの畏敬の念を抱いており、身近に感じる自然とどのように生きていくか考えを深めている。

## 7 板書計画

□「木の声を聞く」		
塚本こなみさん — 樹木医、足利フラワーパークに樹齢150年を超える大藤の移植に成功		
「畏敬の念」	〈塚本さんの植物へ対する気持ちや考え〉	「自然に生かされている」って？
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">桜がきれい 富士山の雄大さ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地震が怖い 津波は怖い 雷の音が怖い</div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;">         どちらも人間ではどうにもできないほどの力を持っている！       </div>		<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>

